

---

# ある日のお妙さん

榊原

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ある日のお妙さん

### 【Nコード】

N3012P

### 【作者名】

榊原

### 【あらすじ】

ある日、妙は寝坊してしまう。

特にすることも無い妙は、万事やお昼ごはんを持っていくことにする。

## 1 寝坊してしまったわ（前書き）

投稿しよう、しようと思ってやっと投稿できました。  
駄文ですが、読んでくれると嬉しいです

## 1 寝坊してしまったわ

ある朝のこと

（いけない、少しねぼうしてしまったわ）

私はゆっくりと体を起こす。

外はいつもどおりうるさくて、でも不思議と安心する。

（そうだな新ちゃん、もう起きてるわよね。朝ごはん作らないと。）  
そうして今日も動き出す。

居間に着くと、

「あ、姉上おはようございます。」

聞こえてくる新ちゃんの声。私は返事をかえす。

「おはよう、新ちゃん。朝ごはんどうしましょう。」

すると新ちゃんははや早口で言った。

「だ、大丈夫です姉上。あ、朝ごはんはもう作りましたから。アハハ・・・」

「そうなの？ごめんなさい。明日からは、」

「だだだだ大丈夫ですよ。なんならずと僕が作りますよ。」

「いいわよ。玉子焼き作るの好きだもの。明日は私が作るわ。」

そのとたんなぜか新ちゃんの顔がひきつったように見えた気がした。  
そして、

「そうだ、もう万事屋いかないと。行って来ますね、姉上。」

「あつ新ちゃん、」

そうして脱兎のごとく去ってしまった。

（変な新ちゃん。）

そう思ったが、気にしないことにした。

「今日はどうしよう。」

誰に言うでもなく、つぶやいてみた。

今日は特に何もなし、何をしようか。

少し考えて、思いついた。

「万事屋に、お昼もって行ってあげようかしら。」

（朝ごはんのこともあるし、ね。）

台所に行こう。そう思って腰を上げた。

# 1 寝坊してしまったわ（後書き）

なんか続きます。

## 2、卵焼き（前書き）

なんかすいません

## 2、卵焼き

「さて、」

何を作ろうか一瞬迷う。

（まあ、一つしかないけどね。）

得意な卵焼きを作ることにした。

（今日は甘めにしてみようかしら。）

卵をといて、砂糖をいれる。フライパンにいれて焼く。

「大丈夫、きつとうまくいくわ。」

自分をはげまして続ける。

できたものをお弁当箱にいれて、

「できた。なんだかうまくできた気がする。」

これを万事屋に持っていこう。

きつと皆よろこぶわ。

ふと時計を見る。針は10時半をさしている。

（少し早いわね。まだまだお昼ではないわ。）

どうしようかと思い、考える。

そんな時、庭先から声が聞こえた。



## 2、卵焼き（後書き）

声の正体はいつもどおりあのひとだとおもいます。

部活で朝練きついぞ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3012p/>

---

ある日のお妙さん

2010年12月10日22時30分発行